令和４年度　　　書道Ⅰ　シラバス　　沖縄水産高等学校

単位数：2　１年生　　　教科書　光村

担当者　大城保男

学習の到達目標

1. 芸術としての書道を学び、古典に基づく表現力・鑑賞力を身につける。
2. 書写の一般的な能力を身につける。
3. 書道の幅広い活動を通して、書を愛好する心情を育て、感性を豊かにし、創造的な表現力を養う。

評価方法

・毎時間の授業での提出作品。
・コンクールや行事への出品。
・学習活動への参加状況（出席状況・学習態度・意見発表等）。

月	配当時間	単元	学習内容	学習のねらいと留意点
4	4	硬筆と毛筆の違い	硬筆の練習　楷書､行書プリント学習書の用具と用材について	一点一画を正確に、筆順にも注意をはらって書く。
5	8	漢字の書 楷書の基本 行書の基本	楷書の用筆法｡行書の用筆と字形､文字のくずし方	筆の穂先の動き方に気を配り穂の弾力の活用などを身につけ楷書との筆順の違い、省略方法に着目する。
6	6	隷書の基本	隷書特有の用筆､字形の取り方､楷書､行書との表現の違い。	隷書の運筆の基本である姿勢を理解し表現できるようにする。
7	8	条副への展開	古典を基に作品制作。	文字の間や、バランスのとり方、余白の生かし方を学ぶ。
9	6	漢字かな交じりの書	詩人､文化人の作品を参考にした作品作り。	漢字とかなの調和をはかりながら表現を工夫する。
10	8	篆刻	篆刻の意味と歴史を学び､姓名印を制作する。	篆書の成り立ちや正しい篆書体について理解する。

11	6	仮名の書	仮名の成立や種類について理解する。	仮名の歴史、成立を理解し、わが国固有の文字である仮名への興味・関心を深める。
12	6	実用書	年賀状の書き方 ハガキ、封書の表書き	書を日常生活へ活用できるようにする。
1	6	書の応用	芳名帳の書き方	日常生活に最も必要な実用書を学ぶことによって実生活で活用できるようにする。
2	6	般若心経	写経	小字長文を最後まで書きあげることで、忍耐力と集中力を養う。
3	6	作品制作	Ｔシャツ制作	オリジナル作品の制作によってさらに書に興味を持ち、活用する力を養う。